長野県小売業SAFEだより

~ 安心して働ける信州のために ~







令和6年度の長野県小売業SAFE協議会(以下「協議会」といいます。)を令和7年2月13日長野労働局において開催しました。

主な内容は、次のとおりです。

- 1 小売業における労働災害の現状
- 2 事例発表 株式会社ツルヤ
- (長野労働局HP·SAFE協議会) 3 意見交換 等

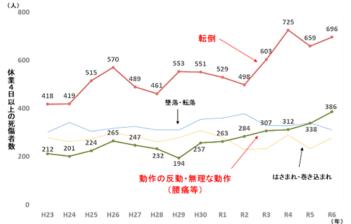
長野県小売業SAFE協議会とは

県内の小売事業者、関係団体等を構成員とし、構成員間で課題の共有を行うもの。

本協議会は構成員に係る安全衛生水準の向上を図るとともに、業界全体の安全衛生に対する機運醸成等を推進することを目的としている。

1 小売業における労働災害の現状

事故の型別災害発生状況の推移(令和7年1月末現在)



長野県における全産業の令和6年の労働災害(休業4日以上の死傷災害)発生状況は、2,360人となり、その内死亡災害が16人となっています。スーパーマーケットを含む小売業では、死傷災害が286人であり、死亡災害はありませんでした。

事故の型別で見ますと、全業種では 「転倒」696人(29.5%)や腰痛等の「動作の反動・無理な動作」386人(16.4%)による災害が増加高止まりしています。

これは小売業においても同様であり、<u>「転倒」(45.1%)、動作の反動・無理な動作」(14.3%)が主な災害内容であり、</u>全業種よりも高い割合となっており、この2つの災害で全体の5割を超えている状況です。また、60歳以上の労働災害が全体の約4割を占める状況となっています。



災害事例

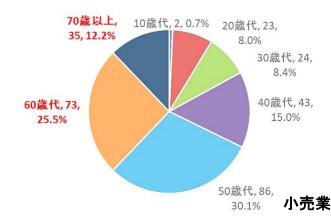
(50歳代女性、休業1月)

調理場で、床の水洗清掃を行った箇所を歩行した際、床がまだ濡れていることに気づかず、足を滑らせ転倒

事故の型別災害発生状況(令和7年1月末現在)



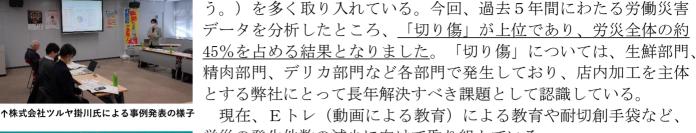
年齡別災害発生状況(令和7年1月末現在)



2事例発表 (株式会社ツルヤ)

株式会社ツルヤ(協議会構成員)の取締役業務マネージャー掛川崇之氏から自社における労働 災害防止の取組等について、説明をいただきました。要旨は次のとおりです。





労災の発生件数の減少に向けて取り組んでいる。

店舗運営の特徴としてインストア調理(以下「店内加工」とい

また、年代別の発生状況を見ると、20歳代前半が最も多く、新入 社員をはじめとした若手職員や入社間もないパートナーが完全に慣 れていない調理作業の中、切傷災害が発生している状況が推察され ることから、教育の浸透・徹底に引き続き取り組んでいる。

更に、転倒については、50歳代以上が多くなっており、床水濡れ の早期拭き取りや滑りやすい箇所の補修など職場環境の改善、店内 で走行禁止の徹底などにも継続して取り組んでいる。

労災は少しの油断、甘い判断、環境の不整備等により発生するこ とから、労災発生の原因分析を進める中で、労災撲滅に向けて今後 とも、従業員一同取り組んでいく。



个Eトレの様子 (現在800本以上の動画を作成)

3意見交換

各構成員から自社の安全衛生活動の取組状況等の情報共有が 行われました。

いずれの企業からも転倒災害、高年齢者の労働災害が目立つ ことから、同労働災害防止に向けての「**対策が急務である**」と いう意見が出ました。また、「労働者のメンタルヘルス対策に ついても強化が必要」という意見に対して、構成員間で意見が 一致しました。

次回以降の協議会開催にあたって、以上を踏まえ同協議会の 活性化を図っていきます。



↑意見交換会の様子

労働安全衛生に関するホームページ

◆厚生労働省 雇入れ時等の安全衛生教育のため動画 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage 44822.html



中央労働災害防止協会

小売業向け安全衛生動画

労働災害を防ごう!





- ・店舗内に 不安全な状態を作らない
- ・店舗で働いている方に 不安全な行動をさせない



- ◆長野労働局 https://jsite.mhlw.go.jp/nagano-roudoukyoku/home.html
- ◆SAFEコンソーシアムポータルサイト https://safeconsortium.mhlw.go.jp/
- ◆職場のあんぜんサイト https://anzeninfo.mhlw.go.jp/
- ◆こころの耳 https://kokoro.mhlw.go.jp/





◆長野産業保健総合支援センター https://www.naganos.johas.go.jp/ https://www.naganos.johas.go.jp/